

はじめに

今日の環境問題は、従来大きなウエイトを占めていた産業型公害から、近隣騒音や生活排水による水質悪化、ごみ問題などの都市生活型公害に移行する一方で、地球温暖化・オゾン層の破壊などの地球環境問題や新たな化学物質による環境汚染などが顕在化しており、広範かつ複雑多様化しているのが現状です。

特に産業革命以降、加速度的に進行している地球温暖化は、人類の生存基盤や自然生態系を脅かす世界共通の喫緊の課題です。昨年発表されたI P C C (気候変動に関する政府間パネル)の第4次報告によれば、温暖化の原因は人間活動に起因するものであることがほぼ断定され、現在、その対策・解決策が急務となっております。

そのようなことから本市では、地域レベルから地球温暖化対策を進めるため、昨年10月に「八代市地球温暖化対策推進本部」を設置しました。地球温暖化対策の推進に当たっては、市職員が率先して省エネ対策等の取組を実行していくことはもとより、市民や事業者に対して環境保全活動の重要性を訴え、地域が一体となって温暖化を防止するための行動を展開していく必要があると考えております。

今後とも、公害の防止や地球温暖化問題、自然環境の保全を本市の重要な環境施策と位置づけ、市民・事業者の皆様とのパートナーシップの輪を広げながら、「環境都市八代」の実現に向けて確かな歩みを進めて参る所存でございます。

本書は、平成18年度に市及び関係機関が調査した結果を併せて、八代市の現況としてとりまとめたものです。多くの皆様に御高覧いただくことによって、本市の環境の現状について理解と認識を深めていただき、継続的かつ積極的な活動を進めていくための一助となれば幸甚に存じます。

平成20年2月

八代市長 坂田 孝志